

# 風はPLCから

発行・編集：令和7年度1年生

3月。だんだん暖かい日が増え、春の到来を感じる季節となりました。大学院生活も気づけばあと1か月を切りました。

そこで、今回は先日行われた成果報告会の様子、教職大学院学生の1年間の振り返りと2年次への意気込みを紹介します。

## 令和7年度成果報告会

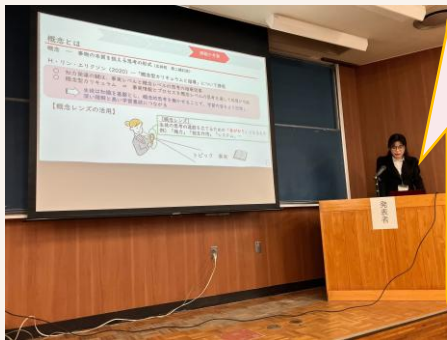
令和8年2月28日(土)に成果報告会が行われました。1年生と2年生の学生がこの1年間の学びを報告しました。学校研究、教科教育研究、特別支援教育プログラムに分かれて自身の探究について熱心に発表しました。そこで、成果報告会での様子を2名の院生に聞いてみました！

これまでの探究の成果を生かしながら発表することができました。実際に発表したり、質問や感想をいただく中で、これまでの自分では気付かなかった新たな気づきを多く得ることができました。これらを今後の研究や実践に生かしていきたいと感じました。次の発表会も発表者と聞き手がそれぞれを尊重し合い、温かい雰囲気の中でできるとよいと感じました。[現職教員学生(小学校)]



1年間取り組んできた探究テーマについて、緊張しながらも成果と課題を報告することができました。探究や実習が思うように進まない場面もありましたが、先生方や院生の助言と支えのおかげで取り組みを続けることができました。来年もさらに深く探究を進めていきたいと思えます。

[学部卒学生(高校教員志望)]



成果報告会後の交流会では修了生の先輩達から貴重なお話を伺いました！

# 1年間の振り返りと2年次への意気込み



教職大学院での1年は、自身の教育観と深く向き合う時間となりました。日々の業務から離れ、異なる校種や経験を持つ学生と対話する中で、これまでの捉え方を多角的に見つめ直し、思考を柔軟に広げることができました。ここで得た多様な視点と学びは、次年度からの特別支援学校での実践に必ず活かせると確信しています。〔現職教員学生(特別支援学校)〕



教職大学院での1年を振り返ると、自分が分からなかったこと、苦手としていたところを客観的に見ることができるようになったと実感しています。2年次は自分の探究はもちろんのことですが、中学生の背景にも焦点を当てながら生徒とともに実践を行っていきたいと考えています。〔現職教員学生(中学校)〕



1年次は、さまざまな実習を通して自分の強みと弱点が明らかになり、課題を自覚しました。その改善に向けて、実習の中で試行錯誤を重ねました。2年次では、そこで得た省察を生かし、探究の達成に向けて授業に取り組み、さらなるスキルアップを図りたいと考えます。〔学部卒学生(小学校教員免許取得プログラム)〕



教職大学院での1年間は、実習や探究を通して少しずつ学びを積み重ねた日々でした。特に算数科の授業づくりに向き合う中で、子どもの考えを生かす難しさを実感し、問いをもって考え続ける必要性を学びました。2年次は、これまでの学びを土台に探究をさらに深め、実践力の向上につなげていきたいです。〔現職教員学生(小学校)〕



## 編集後記

あっという間の1年でしたが、仲間と切磋琢磨して得た力は大きな支えになりました。来年度は今年の学びを生かし、より良い姿をめざして探究を進めていきたいです。この通信が皆さんの参考になれば嬉しいです。1年間、お読みいただきありがとうございました。